

## 実施の目的

日本ではほとんどの学校で生徒会組織が存在しますが、様々な理由から、全国的に生徒会活動が停滞気味といわれています。その主な背景には、生徒会活動そのものへの生徒のコミットメントの低下に加え、生徒の意見が学校運営に反映されにくい体制、学校や先生の生徒会に対する理解の乏しさ、地域や自治体による生徒会のエンパワーメント不足などがあります。ただ、社会のあらゆる場面でこども・若者を意思決定に組み込むことは、「若者政策」の中でも世界的にも大きな流れとなってきました。若者が意思決定に関わることは、大人と異なる見方を取り入れるだけでなく、様々な人や意見をとりとまとめるというスキルアップにもつながり、教育的な観点からも有益といえます。

これまで生徒会活動支援協会では、日本全国に広がる学校生徒会のネットワーク構築支援、ウェブサイトを通じた広報支援（生徒会.jp）、生徒会作文コンクールなど、多くの活動を実施してきました。さらに「日本生徒会大賞」の創設を通じて、生徒会の活動内容を評価し広く発信することで、その意義を再確認し、生徒会活動の活性化につなげていきたいと考えております。

## 表彰（個人・団体）

日本生徒会大賞 1点  
優秀賞 数点  
奨励賞 数点  
生徒会活動賞 参加者全員

## 応募方法

生徒会.jp（QRコード）の応募フォームにこれまでの活動を800字以上でご説明ください。



## 応募資格

生徒会活動に携わる個人（生徒会役員、生徒会の各種委員会の役員、委員等）または団体（生徒会、各種委員会、生徒会連盟等）

## 応募期間

2018年4月1日（日）0時から  
2018年5月10日（木）24時

## 発表

2018年6月2日（土）17時  
生徒会.jp ウェブサイトにて

## 選考

有識者による選考委員会

本募集要項の時間表記はすべて日本時間です

## 生徒会.jp

<http://seitokai.jp/>

◆事務局 一般社団法人生徒会活動支援協会 生徒会大賞運営事務局（担当：芳賀）  
東京都中野区中野 1-14-13  
office@seitokai.jp

# 日本生徒会大賞に寄せる 有識者・受賞者の声



**鈴木 寛 様**  
文部科学大臣補佐官  
東京大学・慶應義塾大学 教授

これからの日本では、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新が続く「予測不能な時代」を生き抜く人格を育むために、アクティブラーニングをはじめ主体的・対話的な深い学びの実現が求められています。また、選挙権年齢が満 18 歳以上に引き下げられたことを受け、学校における主権者教育の充実も急務です。生徒会活動は、こうした教育に対する 2 つの要請を実現できる、素晴らしい可能性を秘めています。高校生の皆さんは、ぜひ「日本生徒会大賞 2018」に応募することを通じて、自信を持って今取り組んでいる生徒会活動を社会に発信してください。



**小玉 重夫 様**  
東京大学教育学部長

18 歳選挙権の時代に突入し、生徒会の役割はこれまで以上に重要なものとなりつつあります。特に、生徒自身が自らの課題を、教師と生徒との権力関係が可視化される自治活動のなかに位置づけることによって、自らを政治的な主体として形成していく場、それが生徒会です。日本生徒会大賞が、生徒会を政治的主体形成の場としていくための大いなる刺激剤となることを期待し、ここに推薦をいたします。



**栗本 拓幸 さん**

生徒会活動は地道な行動の積み重ねです。だからこそ、生徒会活動が注目を浴びることは多くありません。しかし、この『日本生徒会大賞』は“地道な活動”が認められる賞です。『応募する題材もないし…』と思ったあなた、ぜひ生徒会役員として取り組んできたことを応募してみてください。(浅野高等学校)



**遠藤 隆太 さん**

生徒会を私は「学校荒らし」と考えています。学校は、良くも悪くも閉鎖的な空間です。悪いと思われるものも、いずれ常識になる。生徒会はそのような悪い常識を変えていく組織だと思います。常識を変えるには、時に荒らすことも必要でしょう。皆さんもこの賞を味方に「学校荒らし」になってみてください。(東京電機大学高等学校)